

# Fitness Industry Association

## NEWS



発行:(一社)日本フィットネス産業協会  
TEL.03-5207-6107  
FAX.03-5207-6108  
E-mail. info@fia.or.jp  
http://www.fia.or.jp

### Topics

### トピックス

## ～SPORTEC2017～

### 「国の健康寿命延伸策・医療費適正化に フィットネス業界が果たすべき役割」

経済産業省

商務情報政策局ヘルスケア産業課課長 江崎禎英氏

株式会社日本総合研究所

リサーチ・コンサルティング部門 マネジャー 志水武史氏

株式会社アピアスポーツクラブ

代表取締役社長 島田彰一氏

株式会社ルネサンス 取締役専務執行役員 高崎尚樹氏



●経済産業省

商務情報政策局ヘルスケア産業課課長 江崎禎英氏

「超高齢社会」という言葉には定義があります。全人口に占める65歳以上の割合が7%を超えると「高齢化社会」、14%を超えると「高齢社会」、21%を超えると「超高齢社会」となります。現在の日本の高齢化率は27.3%であり、「超高齢社会」をも超えようとしています。今後さらに高齢化率は高まると

予想されています。

しかし、世界に類を見ない日本の高齢化は高齢者の増加によってもたらされるものではありません。今後、65歳以上の高齢者は増加しません。むしろ、64歳以下の若い層が減少していくことが原因で高齢化が加速するのです。しかし、少子化対策や外国人労働者の受け入れなどによって人口構造を人為的にコントロールすることは困難です。

他方、高齢化の進展は、医療・介護分野を始めとする社会保障制度だけでなく、労働力の減少や購買力の低下などによって経済活動にも大きな影響を与えることが懸念されています。

しかしながら、高齢化そのものが元凶であるかのように考えるのは適切ではありません。誰もが健康で長生きすることを望み、それが可能になれば、社会は必ず高齢化するのです。生物学的にヒトの寿命は約120年といわれています。日本では60歳を「還暦」と呼びますが、人は健康で長生きすると暦が2周するのです。問題は、この2周目の人生をどう生きるかというテーマに個人も社会も十分に対応できていないことです。

今後、患者や要介護者が厚生労働省の想定通りに増え続け、これを現行の医療制度や介護制度のままで対応し、その追加費用をすべて消費税で賄うとした場合、消費税は20%を大きく超える水準になるといわれています。消費税を8%から10%に引き上げることであれば議論した挙句、2年半先延ばしたばかりなのに、数年後に20%を超える消費税増税を受け入れられるとは思えません。そうすると欧州のように、一部の患者の保険適用を制限することになり、自動的に混合診療に移行せざるを得なくなります。

こうした判断をする前に、まずは40兆円を超える膨大な医療費がいつ使われているかを見てみましょう。財政を圧迫す

るほどの膨大な医療費は、1周目の時代にはほとんど使っておらず、2周目に入ると突然多額の医療費を使うようになるのです。本来、若いころから健康に注意を払っていけばそのような事態は防げるはずですが、1周目の時代は日々の仕事に追われ、健康管理は後回しになっているのが実情なのです。

現在の我が国の社会保障システムは1960～80年代にその基本型がつくられています。この時代、65歳以上の高齢者は全人口の1割にも満たない水準であり、ごく少数の高齢者を多くの生産年齢人口が支える構造でした。この結果、「ジャパン・アズNo.1」といわれた経済力を背景に手厚い社会保障サービスを提供することができました。同時に、医療サービスも労働者がケガや感染症などに罹った際の「治療」に主眼が置かれていたため、「予防」という機能はあまり重視されてきませんでした。しかし、定年を迎え、「2周目の人生」に入ると、自らの生き方を問い直し、自分の健康について考えるタイミングが訪れますが、すでに手遅れになっている場合も少なくありません。

ちなみに、平成20年に導入された「特定健康診査」は、対象者の半数以上が受診しておらず、その数は約2,800万人にのぼっています。ちなみに、実際にこの検診を受けた約2,500万人の状況を見ると、各年齢層において一定の割合で「治療の必要あり」と診断される方が見つかっています。仮に、未受診者の全員が受診し、同じ比率で要治療の患者が見つかったとすれば、現在約472万人もの方々が直ちに病院に行かなければならない計算になります。これらの方々の多くは症状が悪化して初めて治療を開始するため、検査や治療内容は、身体的にも財政的にも負担の大きなものになります。とくに糖尿病が重症化した場合には人工透析が必要となり、生涯にわたって食生活や行動範囲に大きな制約を受けるこ

とになります。平均寿命が80歳を超える今日、与えられた人生をより良く生きるためには、1周目のうちから健康管理に積極的に取り組むことが益々重要になっているのです。

日本は世界トップレベルの長寿国といわれていますが、大事なのは健康寿命です。現在、平均寿命と健康寿命にギャップが生じています。男性で平均約9年、女性で約13年もあり、医療費の大半はこの期間に使われています。

一般に人間は80歳を超えたら身体が弱るのは当然だと思われがちですが、実はそうではありません。東大の秋山弘子先生の調査によれば、女性の場合、9割が年とともに弱り1割が早めに身体を壊すことがわかります。

他方、男性は7割が年とともに弱り、女性の倍の約2割の方が早めに身体を壊されます。しかし、興味深いことに1割の男性は高齢になっても健康状態は維持されたままなのです。その約1割の男性は、中小企業の会長にその例が多いといわれています。美味しいものを食べて、社会の役に立っているという実感をもっていることがその理由とされています。つまり、人は年をとっても必ずしも虚弱化するわけではないのです。

現在の社会保障制度は、病気になったら医療サービスを受け、身体が弱くなったら介護サービスを受けるというものです。当然のことながら重症化すれば医療費も介護費も大きくなります。しかし、より早い段階で対応することができれば、状況は大きく変えられると思います。現在は人生の最後に膨大な医療費・介護費を使いながらも決して本人のQOLは高いとはいえない状況にあります。今後はより早い段階から健康管理に取り組むことのできる環境を整えることで、長期にわたって健康でいられる社会を構築することが重要です。



とくに医科診療費の3分の1を占める生活習慣病は、本来自ら生活習慣を改めることで相当程度抑えることができる病気ですが、忙しい毎日にあってはなかなか実行することは容易ではありません。そこで経済産業省では、健康経営を推進することで、勤労世代にある方々が健康管理に取り組みやすい環境づくりに務めています。現在、就職活動を行う学生さんを中心に働き方に対する関心の高まりを背景に、企業経営者の意識も変わりつつあります。今後は、糖尿病に代表される生活習慣病に関するデータを蓄積して、どのような方にどのような運動や食事がよいのかについて解析を行い新たな健康・医療サービスの創出を図りたいと考えています。フィットネス産業に携わる方々は、こうした分野をリードできる重要なプレーヤーです。美容のためのシェイプアップに留まらず、栄養やメンタルも含めて健康をサポートする様々なサービスの開発を行っていただくことを期待しております。



●株式会社日本総合研究所  
リサーチ・コンサルティング部門 マネジャー 志水武史氏

本日は、コンビニエンスストアやドラッグストアなど、異業種が提供するヘルスケア関連サービスの事例についてお話ししたいと思います。私もコンサルタントとしてヘルスケア、スポーツ関連サービスのお手伝いさせていただいていますが、ヘルスケアサービスは単体でのサービス提供で利益をあげることが難しく、成功させるにはうまく複数のサービスを組み合わせることがポイントだと感じています。

まず、資料(P3)をご覧ください。株式会社FiNCなどは、機器を使い、またアプリを提供するなど、運動分野の縦の連携により、様々なサービスを提供しています。株式会社タニタも、もともと自社の機器を使ったサービスだけを提供していたところから、健康食やタニタ食堂など、食分野のサービスの枠を広げました。

次に、周南病院と帝人株式会社(以下、帝人)の事例を紹介したいと思います。周南病院は施設系サービスの横連携に力を入れています。同病院が運営する海風診療所が入るビルでは、健康食を提供するレストランやメディカルフィットネス施設もあります。

帝人は快眠をサポートする「ねむログ」というライフログを記録するアプリを提供していました。皆さんのなかにも似たようなアプリを使われている方がいるかと思いますが、ライフログを記録するだけでお金をとるのはなかなか難しいという課題がありました。そこで、同社はウェアラブル機器と連携し、呼吸を感知することによって、よい睡眠をサポートしていくような仕組みを「ねむログ」とセットで提供することを始めました。

株式会社ルネサンスも、健康増進の分野では一般的に縦の連携が多くなるところ、同社は3、4年前から認知症予防ということで、他社と横連携して運動や栄養、睡眠のサービス提供に取り組んでいます。また、近年はドラッグストアやコンビニエンスストアなども健康増進サービスに取り組み始めています。

続いて、ICTの活用事例についてもご紹介しましょう。経済産業省では、社会的課題の解決に挑戦する優れた団体を表彰する「ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト」(以下、JHeC)を2年前から開催しています。そこで2016年にグランプリを獲得したMRT株式会社は、スマホアプリを使ってドクターの健康相談を提供するサービスを提供しています。

同じく2016年のJHeCで優秀賞を受賞している企業、株式会社ミナカラは、ICTを使った服薬指導のサービスを無料で提供しています。私としては、課金してもいいのではないかと思ったのですが、同社の代表によると「ドラッグストアは無料で薬の相談にのってくれますから、このサービスで料金をとるのは難しいですね」ということでした。しかし、お客さまをファンにすることによって、顧客が増えてくれば、そこからま

◆資料



### 3. ヘルスケア関連サービス・商品の複合化成功事例

- ▶ ヘルスケア産業は単品のサービス・商品の収益率が低く、高収益化には複数のサービス・商品の提供が必要
- ▶ 成功事例においては、特定分野での商材拡大（縦展開）、または周辺分野への事業展開（横展開）を実施

		ヘルスケアのフェーズ（分野）				
		健康増進（wellness）		タニタの展開	健康・健康管理（health）	治療・リハビリ（medical）
		運動	栄養 食事	睡眠（リラクゼーション）		
介入ツール（商材）の種類	健康関連機器・商品	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィットネス機器</li> <li>ウェアラブル運動量計（歩数計等）</li> <li>運動指導ソフトウェア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプリメント・健康食品</li> <li>特定保健用食品</li> <li>健康食レシピ本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マッサージ器</li> <li>リラクゼーション機器（アロマ等）</li> <li>健康優良</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体組成計</li> <li>血圧計</li> <li>健康状態確認付き優良</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院系・介護系</li> <li>医療用医薬品</li> <li>大衆薬</li> </ul>
	施設サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィットネスクラブ・スイミングクラブ</li> <li>地域スポーツセンター</li> <li>各種運動教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康レストラン</li> <li>健康食調理教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>温泉・スパ</li> <li>各種リラクゼーション施設（マッサージ等）</li> <li>温泉送迎・宿泊教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間ドック</li> <li>メディカルフィットネス</li> <li>ドックストア</li> <li>周南病院の展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関・介護施設</li> <li>眼科薬局</li> <li>鍼灸</li> </ul>
	サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリ等による運動量記録サービス</li> <li>運動指導サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康食品配送</li> <li>カロリー計算・記録サービス</li> <li>ダイエットプログラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリ等による睡眠量記録サービス</li> <li>記録・リラクゼーション指導サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態サービス</li> <li>食品検診サービス</li> <li>ストレスチェックサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師の管理に基づく在宅医療・リハビリ等</li> </ul>

次世代の国づくり FINCの展開 帝人の展開

たいろいろなサービスが提供できるようになるはずです。現状、ライフログの取得を目的とした様々なリスト型のウェアラブル機器が販売されていますが、今後は機器だけでなく取得したライフログデータの分析を通じて、個々人に最適な介入サービスを提供するなど、サービスも組み合わせなければ販売は難しいでしょう。最後に、フィットネス業界に期待したいことを述べさせていただきます。これまでのヘルスケア分野のサービス・機器は、健康意識が高い方たちを巻き込むことはできても、そうでない方たちを顧客とするのは非常に困難なことでした。これからは、必ずしも健康意識の高くない方々を顧客として取り込むアプローチが大切だと思います

例えば、ヘルスケアサービス・商品の購入・利用の成果として、健康以外の成果、すなわち、金銭的なメリットや「学力や仕事のパフォーマンスを上げたい」といった個々人のニーズに沿った成果を見せることが必要になります。RIZAPなどは「格好良くなりたい」などの想いに応えるアピールをしていますよね。

一方で、ヘルスケア分野のサービス・商品以外のサービス・商品を利活用することで、結果として利用者が健康になるというアプローチもあります。楽しいからゲームをしていたら、結果的に運動量が増えて健康になるといったポケモンGOのような事例もあります。

フィットネス業界はこうした両方のアプローチを実施することができると考えています。

●株式会社アピアスポーツクラブ  
代表取締役社長 島田彰一氏

アピアスポーツクラブは、1,000坪規模のスポーツクラブがまだ珍しかった、32年前にオープンしました。ショッピングセンター（以下、SC）の3、4階に入居しています。これまで、職員や



地域の人々の健康づくりサービスのほか、公共施設の業務委託や指定管理などを行ってきました。

例えば、指定管理を行っている常願寺ハイスports公園は焼却場の余熱を有効活用した施設となっており、12年前にリニューアルを実施し、現在では年間10万人以上の方が利用しています。岩瀬スポーツ公園は、造園業者やビルメンテナンス事業者など、当社含めた計13社で株式会社富山スポーツパークマネジメントという会社をつくり、指定管理事業者として運営しています。日本でも有数の人工芝のテニスコートをもち県大会の開催などにも利用されています。

次に、高齢者対応プログラムの流れについてご紹介したいと思います。当社は1985年にオープン以来、高齢者への健康増進に取り組んできました。1989年にはNHKからの依頼で、シルバー・スイミングスクールのほか、フィットネス教室を15年ほど請け負っていたこともあります。これが、私たちが高齢者への指導に力を入れるきっかけでした。2005年にはオープン20周年記念ということで、三浦雄一郎

さんを招いた講演会を行ったり、介護予防運動指導員(東京都老人総合研究所)の養成も開始しました。

2010年には、株式会社アピウアウェルネスという子会社を設立し、運動機能訓練特化型デイサービスの提供を開始しました。食事・入浴なしで、午前・午後の3時間ずつ、月～金曜日に営業しています。1号店はSCの1階につくりました。行き・帰りの送迎付き、トレーニング後はSCで買い物もできるということで好評を得て、2、3号店もオープンさせました。こちらはコンビニエンスストアの跡地のスペースなどを利用して出店しました。

2014年からは従業員数が1,300名以上いるビル管理業者に対して、65歳以上の従業員の健康づくりセミナーも実施しています。定年後、再就職として再び働き始めた方たちであるわけですが、健康が万全でない方が多く、ビル掃除の仕方に問題があったり、夜勤が多い職場では欠勤が多かったりという問題がありました。そこで、高齢社員に特化した健康指導を、1泊2日の合宿形式で提供することになったのです。1日目は運動の啓蒙・実践指導、検診結果の見方、管理栄養士による食事指導などを、2日目はウォーキングや散歩などの軽い運動を実際に行いました。

さらに、富山県では2014年より、健康づくりに取り組む富山県内の優良企業を毎年選定する「元気とやま健康づくり企業」の取り組みが始まりました。いわゆる、経済産業省が実施している「健康経営銘柄」の富山版です。記念すべき第一回目に表彰された企業の1つには、当社が先ほどの健康合宿を提供したところ選ばれました。今ではその合宿は「とやま健泊」として、富山県が健康長寿日本一を目指すための施策の1つとして推奨されるようになりました。近年は富山県ならではの要素も組み込み、森林浴セラピーや、海の

対応方法についても、検討を重ねているところです。

なお、運動・健康指導はそのときだけ行えばいいものではなく、企業においても継続して取り組んでいただくことが大切です。先ほどの「とやま健泊」には、スタッフとして参加いただくことも推奨しています。スタッフとして学び、各企業に戻っても取り組みを継続していただけるようにしています。



●株式会社ルネサンス  
取締役専務執行役員 高崎尚樹氏

本日は、現在の当社の取り組みを中心に、フィットネス業界やそのほかの領域についてお話したいと思います。当社はスポーツクラブを専業としていますが、そのほかにも様々な事業に取り組んでいます。高齢者の方が使いやすいプールの作り方を研究したり、ヨガ専門スタジオ、高齢者向けのプログラム、最近では名古屋駅の上にスタジオやサイクルスタジオなどをそろえた「コクール」をオープンさせ、たいへんな人気となっています。渋谷の「CYCLE&STUDIO R Shibuya」も、とても好評です。さらに、オリンピックや世界水泳に出場する水泳選手なども育成しています。どれもそれなりに成功しているように見えるかもしれませんが、常に「このままでいいのか？」

そば、クア施設など、地元でも「1泊してみたい」と思うような場所を合宿先に選んでいます。その結果、去年は募集に対して非常に応募が多かったので、今年はさらに規模を拡大します。第1回目はこの8月6日からスタートします。

続いて、一般社団法人とやまライフデザイン研究所についてご紹介しましょう。私ども民間だけでは、例えば行政など、よい政策があっても、なかなかそれを広く展開しにくいところがあったため、非営利団体としてこの研究所を立ち上げました。富山県内の人、組織、プログラムなどうまく連携し、地域に広めていこうと取り組んでいるところです。

そのほかにも、アピアスポーツクラブが30周年を迎えたときには、その記念として、SCの中という立地を利用して、SCの利用者に300個の万歩計を無料で配布しました。条件は、1週間に1度SCに来ていただき、専用端末で歩数をアップロードしてもらうことです。それを集計して3ヶ月に1度、歩数に応じてSCから商品券などをプレゼントするとしました。この取り組みは1年間、継続事業として行いました。

なお、アピアが入居するSCは、今年4月にリニューアルを実施したのですが、その際に売り場とは別に300坪ほどの特別スペース「ハッピー広場」をつくっていただきました。地域の民生委員、自治会、包括支援センター、市保健福祉センター、市社会福祉協議会、富山大学の方などと協力しながら立ち上げたものです。「ハッピー広場」は、お買い物ついでに、健康や相続についてなど、聞きたいことを気軽に相談できる場として、利用いただいています。

そのほかにも、氷見市の未病対策事業にも取り組んでいます。検診を受けて、結果に異常はなかったが、体調が万全ではないと感じているような場合、自覚症状はないが結果に異常がある状態を「未病」と呼び、そのような状況の方への

という「恐怖感」がぬぐえず、挑戦し続けているのです。

自治体と一緒に運動指導や軽度認知機能障害予防にも取り組んでいます。香川県三豊市のケースは2014年に経済産業省の委託事業に採択されたのですが、翌年からは市民が自分たちのお金を出し合って当社のインストラクターを呼んでくれるようになってきました。今では全国の自治体で、およそ1,200の健康教室を開催しています。リハビリ特化型デイサービス事業の「元気ジム」はフランチャイズ展開を開始しましたので、ご興味のある方はぜひお問い合わせください。

そのほかにも、提携先の株式会社NTTドコモと協働し、子どもの健康づくりプログラムを滋賀県米原市で実施し、厚生労働省から表彰していただきました。さらに、健康やスポーツを軸とした事業で、地方創生にも取り組んでいます。

当社が出資している株式会社コミュニティネットでは、先ほど経済産業省の江崎課長が話された、サービス付き高齢者住宅ではない「仕事付高齢者住宅」を運営し、住宅運営の一部を入居者が担当しています。ただ人の世話になるだけの高齢者住宅でなく、人のお世話をする住宅の開発・運営が実際に動き始めていますが、そこに必要なのは健康であることですね。

このほかにも海外展開や認知症予防など、当社はいろいろな取り組みを行ってききましたが、一社でできることは限界があります。これから未来に向かって様々な取り組みをフィットネス業界の皆さんとも一緒にやっていきたいと思っています。一例を挙げれば、葛飾区が行っている「プラチナ・フィットネス」があります。65歳以上の区民の方に限りますが、本人負担は6,000円で3ヶ月間12回の施設利用が可能。区役所からも金銭的支援を受けて、当社を含めセントラルスポーツやティップネスなど区内のスポーツクラブの9ヶ所の施設を利用できるものです。このような事業をフィットネス業界の皆さまと協力して行けたらと考えています。一緒に連携して健康なまちをつくっていきましょう。

## Board Meeting

## 理事会報告

FIAは平成29年9月8日(金)第185回理事会を弘済会館(東京・麹町)にて開催し理事監事18名が出席した。

## I. 議事1 審議、決裁事項

## (1)入退会申請

下記3件の入退会申請があり審議の結果いずれも承認された。

1. 入会  
賛助会員

## ①会社名:株式会社 ドクターズ・マン

所在地:横浜市青葉区

資本金:1千万円

営業内容:水素水生成装置の製造販売。

医療・健康・美容・衛生機器・介護予防機器の製造販売。

## ②会社名:アサヒ衛陶 株式会社

所在地:大阪市中央区

資本金:14億3百万円

営業内容:衛生陶器・洗面機器の製造販売。

温浴施設水質改善・ろ過材等。

2. 退会  
賛助会員

## ①会社名:大塚食品 株式会社

所在地:大阪市中央区

理由:取扱商品群変化のため。

商材:主にミネラルウォーター

「シニアライフ」を2017年度より併催展示会として独立させたもの。フィットネス分野との連携を進めると共に多数の一般入場者もある展示会としてフィットネスクラブ自体の出展も促したい。

対象:健常高齢者

出展者:住宅・旅行・金融・スポーツ等

※昨年度(第1回)後援許可。

## 2. 第10回「スポーツクラブサミット」

主催:(公財)日本スポーツクラブ協会

催事名:第10回スポーツクラブサミット

会期:2017年11月10日(金)・11日(土)

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター

内容:講演・事例発表を通じて日本全国にスポーツクラブの普及育成を図るための課題解決策を探求する

対象:主に総合型地域スポーツクラブの運営者

※毎年後援。名義の使用のみ。

## II. 議事2 報告・協議・承認事項

## ＝検定事業委員会＝

検定委員会委員長の進行により検定事業準備状況について報告・審議が行われた。

## 1. 進捗報告(厚労省手続き・試験準備等)

## ①委員会の名称について

FIA 検定事業委員会:理事会委員会(委員長=笠原副会長)

FCM検定委員会:指定試験機関としての法的設置委員会(委員長=原田理事)

## ②行政手続きは国によるパブリックコメント募集終了(9月22日)後速やかに進行の見込み。その後プレス発表を準備。

## ②会社名:秀英ウエルネス 株式会社

所在地:東京都世田谷区

理由:事業リストラクチャリングのため。

商材:テニスクラブ運営・ヨガフィットネス運営のサポート。

## ③会社名:株式会社 ソシオネクスト

所在地:横浜市港北区

理由:ビジネス対象がフィットネスから医療機器へ変更のため。

商材:モバイル超音波機器・クラウドサービスによるトレーニングサポート。

## (2)後援名義使用申請 (審議)

事務局より以下2件の後援名義使用許可申請が提出されていることが説明され、審議の結果、いずれも承認された。

## 1. 第2回「ライフスタイルビジョン」

主催:一般社団法人日本ヘルケア協会・日本チェーンドラッグストア協会

催事名:ライフスタイルビジョン ～アクティブシニアの健康&美容、快適生活の産業と未来展

会期:2018年3月16日(金)～18日(日)

会場:幕張メッセ

内容:「アクティブシニアの健康&美容、快適生活の産業と未来展」をテーマとする。毎年3月開催の健康・美容分野の大規模催事「JAPANドラッグストアショー(日本チェーンドラッグストア協会主催。来場者数約13万人)において数年間取り上げた

## 2. 試験計画について

第1回試験日11～12月、第2回試験日2月として準備中。

## 3. 特に第1回の受検者確保について

行政手続きとの関係で申込期間短く、会員企業の協力を仰ぐこととする。

## 4. テキスト等普及活動進捗状況

会員企業を中心に1,200冊程度を受注。外部クラブ、学校関係への販促中。

## 5. 検定ホームページ製作状況について

受験申込サイトは個人・団体(5名以上)2通りで設計・製作中。

## 6. 検定事業用事務所について

指定試験機関要件に沿い、FIA通常業務と分離した事務スペース、PCシステムを設定した。

フィットネスクラブ・マネジメント技能検定事務局

TEL: 03-5207-2456 mail: [kentei-info@fia.or.jp](mailto:kentei-info@fia.or.jp) (問合せ)

[text@fia.or.jp](mailto:text@fia.or.jp) (テキスト受注)

## ＝社会・渉外委員会＝

社会渉外委員長より活動状況について報告を行った。

## (1)スポーツ庁委員会出席の件 (報告)

「ビジネスパーソン向け国民運動」委員会

FIAからの委員派出要請。松村事務局長が出席。

ビジネスパーソンの運動・スポーツ習慣の定着を図りスポーツ人口拡大へ向け、官民連携で持続的に推進する事を目的とする。第一回8月8日(火)開催した。

## (2)デビット・ミントン氏 UK-ACTIV(英国のFIA)との情報交換会(協議・承認)

英国からデビット・ミントン氏が10月に来日する。(早稲田

## 大学間野先生の招聘)

ミントン氏は2002年の初来日以降、日英のフィットネス産業協会を当事者として見てきた人物。高い参加率、国との深い関与など旧英国FIAがukactiveへ戦略的に変遷していった経緯と社会環境づくりなどを語ってもらい、理事会としてFIAの今後を考える参考を学ぶ機会としたい。

## 理事会メンバーとの情報交換会案

(10月20日(金) 通訳:検定事務局、小倉)

英国FIAからukactiveに移行した経緯の説明及び質疑応答。

以上を協議の結果、理事有志の参加により会を持つことを承認した。

## =事業委員会=

事業委員長より以下事項について活動状況報告を行った。

## (1)SPORTEC 結果(報告)

①オープニングレセプション テープカットへ参列。  
田畑副会長

## ②提供セミナーの開催

D-1:FIAマネジメントセミナー 7月25日(火) 10:30~12:00  
『少子高齢社会だからこそ考えるスクール事業の未来』(48名)

F-3:FIAマネジメントセミナー 7月25日(火) 16:30~18:00  
「これからのフィットネスクラブの成長を支える人材育成のありかた」とフィットネスクラブマネジメント技能検定(仮称)の活かし方」(144名)

## =調査研究委員会=

調査研究委員長より本年度取り組みの進捗について報告を行った。

(今年度のテーマ)

定年を迎えた60才以上or実質リタイアした65才以上のシニア男性を対象に下記の事項をリサーチする。

・健康に対する意識/日常生活の実態/フィットネスクラブに対するイメージ。フィットネスクラブへの入会意向、阻害要因

(現況)早稲田大学松岡教授のもとで、過去二回分の調査研究データから、今回の調査研究に活かすデータの抽出と検証を実施中。

(今後)9月末日までに、データの抽出・検証結果をある程度まとめ、10月以降で、そのデータを業者(マクロミルが候補)に持ち込みテキストマイニングをかけた分析を進める。

その後、今年の12月中には調査対象の意識や実態を抽出するためのグループインタビューを実施。

## =組織基盤拡充委員会=

組織基盤拡充委員長より以下2点について報告を行った。

1. 地方協議会等との連携事業は、特に報告事項なし。
2. 新規会員の獲得については、関係者の協力を得ながら、入会アプローチを2社予定。

## =女性活躍委員会=

専務理事より今後は委員会では無く、(本日予定の討議のように)情報集約による理解促進と、加盟クラブへの提供の仕方を協議する形式としたい旨提案があったが、協議の結果、

E-5:トークセッション7月26日(水)10:30~12:30

「国の健康寿命延伸策・医療費適正化にフィットネス業界が果たすべき役割」(49名)

## ③検定事業ブース展示

説明パネル・スタッフによる説明・テキスト販売

※SPORTEC本年の入場者数

7/25(火)	7/26(水)	7/27(木)	
16,506	17,123	17,343	合計 50,972名

## (2)FIA会員交流パーティー結果(報告)

7月26日(水)18時~19時30分

東京ベイ有明ワシントンホテル 138名

ゲスト(挨拶) スポーツ庁・経産省・IHRSA

## (3)スポーツクラブ駅伝2017(報告)

東京大会:10月14日(土)夢の島競技場(江東区)

募集中(9月15日の参加人数確定に向けて、最終の集客活動中)

集客目標 3,000名

## (4)FIAマスターズスイミング(報告)

FIAマスターズスイミングフェスティバル2017

10月1日(日) 京都アクアリーナ

募集期間 6月12日~8月2日

エントリー数(カッコ内昨年)

155チーム(147) 1,083名(1,002)

種目数:個人1,783(1,634) リレー222(198)

構成委員による提案・取り組みを軸として委員会活動として継続することとした。

以上で審議を終了した後、「産休育休制度と復職」をテーマとして各社より発表と討議を行った。現状と課題を整理の上会員と情報共有する。

## Information

## お知らせ

## 1. FIA全国スポーツクラブ駅伝2017

東京大会は10月14日(土)開催。

(江東区夢の島陸上4競技場)

エントリー数は2,831名となりました。募集・引率などのスタッフの皆様へ感謝申し上げます。

## 2. ウェルネスライフEXPOセミナー

FIAも後援する関西におけるフィットネス・健康の総合展示会「ウェルネスライフEXPO」が11月8日(水)~10日(金)開催されます。

会場:インテックス大阪

(大阪市住之江区南港北1-5-102)

FIAはマネジメントセミナーとして、「これからのフィットネスクラブの成長をさせる人材育成のあり方と、フィットネスクラブ・マネジメント技能検定の活かし方」を開催します。

11月8日(水)13:00~14:30 講座コード7-2(無料)

申し込みは同展ホームページから。

<http://www.wlexpo.jp/seminar/>

尚、同展示会セミナーでは、FIA会員企業・関係者による講座が12あり、併せてご参加ください。

### 3. FIA マスターズスイミングフェスティバル 2017

今年の本大会は10月1日(日)京都アクアリーナで開催されました。

参加者1,083名、日本記録4個の成果がありました。

また、毎年好評のイベント(スタート泳法講習)はコナミスポーツクラブのご協力により、高安 亮選手・入江 晋平コーチお二人を講師に、定員30名で2回実施、内容のあるレッスンとなりました。

また、今年は特別協賛のミズノ(株)提供のイベントがあり、中央大学の高橋教授による「フラットスイム習得トレーニング」体験&座学を行いました。

体験では、2種類のトレーニング用水着を着用して実際に体感し、自分の泳ぎの変化を体験していただきました。

座学では大勢の参加者、コーチの方々が非常に熱心に受講されていました。

両イベントとも非常に活気のある盛況なイベントとなりました。

一日を通した「チーム対抗戦」では、

- 1位=コナミ三田、
  - 2位=ルネサンス、
  - 3位=コスパみのお
- の3チームが表彰されました。

来年の同大会は2018年9月30日(日)の予定です。

また、春の大会「FIA マスターズスイミング選手権大会2018」は2018年3月3日(土)4日(日)に開催され、12月上旬より募集が始まります。



FIA 吉田会長 開会式でのご挨拶



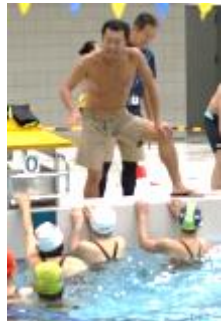
高安氏・入江氏のスタート講習の様子



高橋教授のフラットスイム習得トレーニングの模様(体験)



高橋教授の座学の様子



### Member's Board

### 会員掲示板

#### ■11月開催レズミルズジャパン ビジネスセミナーのお知らせ

レズミルズジャパンでは、クラブオーナー様を対象としたビジネスセミナーを開催しています。クラブ運営に役立つインサイトや成功事例、新しいプログラムのご紹介など、市場のトレンドと需要を捉えたトピックを全国各地の会場にてご紹介して参ります。

#### <レズミルズとは?>

レズミルズは、BODYPUMP™、BODYCOMBAT™、LES MILLS GRIT™など、世界的に人気のあるグループフィットネスプログラムを提供しています。現在これらのプログラムは、世界105カ国の19,000施設を超えるクラブで、約135,000人のインストラクターによって日々提供され、多くの人たちをフィットネスに魅了し続けています。マネージングディレクターのフィリップ・ミルズが率いるこのブランド名は、創設者のレズ・ミルズ氏に因んで名付けられました。レズミルズプログラムは、3か月毎に最新の音楽と振付に刷新され、参加者の持つ様々な目的に合わせて選択ができるため、数多くのファンから支持を得ています。また、「グループフィットネスプログラムの提供」のみならず、専任チームによる「コンサルタント業務」「インストラクター向けの研修」「マーケティングサポート」も行い、クラブ運営を多面的にサポートしています。

#### <セミナートピック>

「メンバーシップを超えた関係構築」  
フィットネスクラブの運営には、世界的に共通する課題があります。それは新規会員を増やし退会率を減らすこと。

世界的に年に50%の会員が退会すると言われていています。なぜ、メンバーは退会をしてしまうのでしょうか?この疑問には、「モチベーション」と「結果」という2つの要素が密接にかかわっています。この2つの要素を会員が維持するためのサポートをすることがフィットネスクラブの使命であり、それをフィットネスクラブが実現するためのサポートをすることがレズミルズの使命でもあります。今回のセミナーでは、世界各国から集めた膨大なデータの中から得た6つの戦略をご紹介します。

- モチベーション
- 会員との関わり方
- 入会直後の重要性
- 技術革新の有効利用
- 会員への教育
- マーケティングツールと差別化

セミナー参加費: 無料  
定員: 20名(11月8日の広島会場を除く)  
※申込締切り後に参加の可否についてご連絡させていただきます。定員に満たない場合、キャンセルとなる可能性がございます。予めご了承ください。

#### <開催場所と日時>

下記よりご希望の会場をご選択の上、お申込み下さい。

札幌会場: 11/1(水)13:30-15:00  
TKP札幌駅カンファレンスセンター カンファレンスルーム3E  
<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-sapporo-eki/access/>  
申込締切 10/25(水)

名古屋会場:11/2(木)13:30-15:00  
TKPガーデンシティPREMIUM名古屋駅前 カンファレンスルーム13B

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-nagoya-ekimae/access/>

申込締切 10/26(木)

広島会場:11/8(水)【定員8名】13:30-15:00  
リージャスひろしまハイビル21 16階

<https://www.regus.co.jp/office-space/japan/hiroshima/hiroshima-high>

申込締切 11/1(水)

札幌会場:11/10(金)13:30-15:00

TKP札幌駅カンファレンスセンター カンファレンスルーム21

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-sapporo-eki/access/>

申込締切 11/3(金)

東京会場:11/16(木)13:30-15:00

TKP東京八重洲カンファレンスルーム 4U

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-tokyo-yaesu/access/>

申込締切 11/9(木)

大阪会場:11/17(金)セミナー(13:30-15:00) + 体験会(15:15-15:45)

Studio TRIVE

<http://trive-hgp.jp/>

セミナー後にCXWORXの体験会がございます。参加を希望される方は、お着替えとシューズをお持ちください。プログラムの詳細は下記をご覧ください。

<https://www.lesmills.com/jp/workouts/fitness-classes/cxworx/>

申込締切 11/10(金)

広島会場:11/22(水)15:30-17:00

TKPガーデンシティ広島駅前大橋 - カンファレンスルーム4C

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-hiroshima-ekimae-ohashi/access/>

申込締切 11/15(水)

博多会場:11/24(金)13:30-15:00

TKPガーデンシティ博多新幹線口 カンファレンスルーム 4-B

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-hakata-shinkansenguchi/access/>

申込締切 11/17(金)

お申し込みはこちらから →

<https://jp.surveymonkey.com/r/LMjnovember>

お問い合わせはこちらまで:

レズミルズジャパン

[sales.japan@lesmills.com](mailto:sales.japan@lesmills.com)

03-6890-2466(平日 9am-6pm)

## ■セミナー開催のお知らせ

### 「フィットネスの未来戦略

### ～ヨーロッパのフィットネス市場の動きから学ぶ～」

株式会社クラブビジネスジャパンは、株式会社ルネサンス協力のもと、10月20日(金)にセミナー「フィットネスの未来戦略～ヨーロッパのフィットネス市場の動きから学ぶ～」を開催する。

#### <内容>

アメリカのフィットネス産業の情報・サービスは日本にもかなり入ってきており、当業界の成長にも大きく寄与している。しかし、ヨーロッパの情報・サービスも、今後の日本のフィットネス業界の成長を見据えたとき、たいへん有用なものになるのではないかと考えられる。

ヨーロッパでも台頭するバジェットジムやブティックスタジオに対して独自の魅力を備えて成長し続ける総合業態のクラブのあり方、神経・感覚・情操にアプローチする子どもや高齢者向けのプログラミング、ICT やAI を絡めた各種フィットネスサービスやエリアマーケティングなどについて、イギリスを中心にヨーロッパのフィットネス事情に精通するThe Leisure Database Company 社代表デビッド・ミントン氏にたっぷりとお話しいただく。

あわせて、ミントン氏と日本の業界関係者とのディスカッションのなかで、これから顕在化するであろう日本のフィットネスサービスの機会とそこにアプローチする手法について、明らかにしたい。とりわけ、保険外で提供されているポストリハビリの成功モデルやコンディショニング系サービスの新しい取り組み、ヘルスツーリズム・スポーツツーリズム成功のポイント

などについて、ヒントを探りたい。

※本イベントは、デビッド・ミントン氏(The Leisure Database Company 社)、西川力氏(有限会社インタービジョン)らに、現地にてご案内いただき、2018年4月開催予定「FIBO & 欧州介護予防・フィットネスビジネス視察研修ツアー(ドイツ・イギリス)」の事前セミナーを兼ねています。

日時:2017年10月20日(金) 18時45分～21時20分

場所:株式会社ルネサンス 本社3階 会議室

参加費:3,000円(税込)

※講演会終了後、講師を交えて懇親会を会場近くの飲食店で開きます。ぜひご参加ください(※別途懇親会費4,000円がかかります)。

#### <スケジュール>

18:45 受付開始

19:00～20:30 デビッド・ミントン氏講演

20:30～20:35 休憩

20:35～21:20 【パネルディスカッション】

「これから顕在化するであろう日本のフィットネスサービス分野とそこへのアプローチ～ヨーロッパでの取り組みをヒントにして」

#### <パネリスト>

・早稲田大学 非常勤講師 小倉乙春氏(通訳兼任)

・株式会社ルネサンス 常務執行役員 望月美佐緒氏

・有限会社インタービジョン 西川力氏

・月刊NEXT 編集長 岩井智子

司会進行:フィットネスビジネス 編集長 古屋武範

詳細・お申し込みページはこちら ↓

<http://www.fitnessclub.jp/business/seminar/2413/>



## Associate members

## 賛助会員紹介

## アサヒ衛陶株式会社



## 企業PR

江戸時代(享保年間)創業以来、窯業一筋で培ってきたノウハウをもとに、トイレや洗面化粧台をはじめとする住宅設備機器の製造メーカーとして、これまでも数多くの水回り製品を提供してまいりました。特に近年では、より多くの方に使っていただけるよう「生活ニーズに応じ・住まい創り」をモットーに、車椅子でも使いやすい洗面台の開発や、身体障害者の目線に立って設計した各種バリアフリー製品の販売に注力しています。

<会社情報の詳細はホームページをご覧ください>

<http://www.asahieito.co.jp/>

## 主要商品・サービス

## 【温水洗浄便座サンウォッシュ】

温水や便座の温度を維持する「節電モード」に加え、外出や就寝時などの長時間使用しない場合に最適な「タイマー節電」を搭載。リモコンで操作する「リモコンタイプ」と、手で操作する「袖付きタイプ」が選択できます。

## 【洗面化粧台オーラ】

インテリア性の高い家具感覚のデザイン洗面台(陶器製)。水栓レバーは中央の位置で止めると「カチッ」と音がする節湯タイプなので、給湯の負荷を減らし省エネにつながります。

<製品の詳細はホームページをご覧ください>

<http://www.asahieito.co.jp/Product/>

## 会社概要

会社名/アサヒ衛陶株式会社  
 代表者/代表取締役社長 町元 孝二  
 所在地/大阪市中央区常盤町1-3-8 中央大通FNBビル10階  
 部署/国際営業部  
 担当者/西田大介  
 連絡先/TEL:06-7777-2065  
 e-mail/ d-nishida@asahieito.co.jp  
 URL/ <http://www.asahieito.co.jp/>

## Associate members

## 賛助会員紹介

## 株式会社ドクターズ・マン



## 企業PR

株式会社ドクターズ・マンは、水素水自動販売機のパイオニアとして、高性能・高性能な「水素水サーバー」の製造開発・販売・レンタル事業を行っております。弊社の技術は、フィットネス業界のみならず、医療現場、大手企業の福利厚生など、幅広い分野で利用され、信頼をいただいております。「水素のチカラで健康寿命に貢献する。」を社命として、多くの医師、研究機関、大学、健康保険組合などと水素の抗酸化力に関する研究を日々進めています。

## 主要商品・サービス

【水素水自動販売機H2JAPAN・H2neo】の2機種は、運動施設の会員サービスや、大手企業の福利厚生としてご利用いただいております。特許登録されたドクターズ・マン独自の水素水生成方式は、飲料水を一切電気分解しない、業界唯一の一過式バブリング方式。ナノレベルの微細な気泡が完全溶存された高濃度水素水を安定して供給することができます。純水に対し水素だけが供給され、有害物質混入の可能性リスクを排除した安全な水素溶存方式です。電解水素水とはまったく製法の異なる特許技術の高濃度水素水、クリアな味と品質、安心安全をご提供いたします。

【水素ガス充填装置DAYS】は、医療機関・研究機関を中心に普及が進む水素水生成装置です。水以外の飲料にも、水素ガスを加圧充填することで、瞬間的に超高濃度の水素を溶存させることができます。コンパクトで設置工事も必要なく、数秒で超高濃度の水素水を生成できるDAYS。こちらも特許登録製品です。高品質な製品群とメンテナンス体制で、御社のニーズに対応させていただきます。

## 会社概要

会社名/株式会社ドクターズ・マン  
 代表者/代表取締役 橋本 総  
 所在地/神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-14-5  
 担当部署/営業部  
 担当者/米田昭二郎・小菅啓介  
 連絡先/TEL:045-905-2330 FAX:045-904-1138  
 e-mail/ info@doctorsman.com  
 URL/ <http://www.doctorsman.com/>

## New Clubs

## 出店情報

## 10月のオープンクラブ

**ホリデイスポーツクラブ 和歌山店**

所在地: 和歌山県和歌山市湊御殿3-1-2  
TEL: 073-435-6633

**スポーツクラブアクトスWillGグリーンモール山室**

所在地: 富山県富山市山室226番地2  
グリーンモール山室 2階  
TEL: 076-491-1722

**ホットヨガ&コラーゲンスタジオ ルキナ大塚駅前**

所在地: 東京都豊島区北池袋2-2-2  
ランドマークビル5F  
TEL: 03-5961-3939

**メガロス白金台**

所在地: 東京都港区白金台3丁目16-8 ●FIA会員

**b-monster名古屋栄スタジオ**

所在地: 愛知県名古屋市中区栄3-27-1  
SAKAE PLACE B1F

**ストレッチ&スタジオ FunUP**

所在地: 神奈川県横浜市青葉区大場町704-30  
東急あざみ野ゴルフガーデン内  
TEL: 045-901-5211 ●FIA会員

**メガロスフレ 麻布十番**

所在地: 東京都港区麻布十番2-13-5 1・2階 ●FIA会員

**メガロス24 テラッセ納屋橋**

所在地: 愛知県名古屋市中区栄 1-2-49  
テラッセ納屋橋 A 棟 3FA301 ●FIA会員

**Curves堀之内三和**

所在地: 東京都八王子市別所2丁目1  
VIA長池 スーパー三和208  
TEL: 042-682-2867

**Curves横浜中田**

所在地: 神奈川県横浜市泉区中田南3-1-5  
クリスティアーネ1F  
TEL: 045-390-0280

**Curvesイオン乙金**

所在地: 福岡県大野城市乙金3丁目24-1  
TEL: 092-580-9588

**Curvesキヨーエイ石井**

所在地: 徳島県名西郡石井町石井字石井671-1  
TEL: 088-674-3316

**Curves信州飯山**

所在地: 長野県飯山市静間1389-5 Sキューブ店内  
TEL: 0269-67-0399

**Curvesマックスパリュ西風新都**

所在地: 広島県広島市安佐南区大塚西6丁目6番1号  
TEL: 082-849-5622

**Curvesファインズ淵頭**

所在地: 茨城県常総市水海道淵頭町4566-1  
ファインズ淵頭店  
TEL: 0297-28-0651 ●FIA会員

**CurvesMEGAドン・キホーテ北鴻巣**

所在地: 埼玉県鴻巣市箕田3111-1  
TEL: 048-577-3102

**Curvesイオン東大阪**

所在地: 大阪府東大阪市荒本北2-3-22 1階  
TEL: 06-4308-4566

**CurvesVタウン芥見**

所在地: 岐阜県岐阜市芥見南山2丁目4-27  
TEL: 058-243-1677

**Curvesイオンモール神戸南**

所在地: 兵庫県神戸市兵庫区中之島2-1-1  
TEL: 078-599-5630

**Curvesシェルピア貝塚**

所在地: 大阪府貝塚市近木町4番1号  
シェルピアDeux 2F  
TEL: 072-439-5552 ●FIA会員

**FASTGYM24大森町**

所在地: 東京都大田区大森西3-27-18  
TEL: 0120-208-025

**エニタイムフィットネス大森町**

所在地: 東京都大田区大森西3-16-11  
TEL: 03-6436-8565(臨時受付: 梅屋敷店)

**エニタイムフィットネス江戸川環七通り**

所在地: 東京都江戸川区西瑞江5-15-12  
TEL: 03-5879-2381(臨時受付: 一之江店)

**エニタイムフィットネス稲城**

所在地: 東京都稲城市百村1624-3  
アクラブ稲城店 2F  
TEL: 042-490-0524(臨時受付: 調布店)

**エニタイムフィットネス上大岡**

所在地: 神奈川県横浜市港南区最戸1-6-2  
第一オーヴァルビル 2F  
TEL: 045-352-7385(臨時受付: 金沢文庫店)

**エニタイムフィットネス守谷駅前**

所在地: 茨城県守谷市中央2-16-1  
アワーズ守谷 1F  
TEL: 0297-21-2200

**エニタイムフィットネス杜せきのした**

所在地: 宮城県名取市杜せきのした5-4-3  
アクロスプラザ杜せきのした D棟 1F  
TEL: 022-226-8225

**エニタイムフィットネス金沢大桑**

所在地: 石川県金沢市大桑3-22  
TEL: 06-4390-4311(臨時受付: 西大橋店)

**エニタイムフィットネス野々市**

所在地: 石川県野々市市三納2-150  
TEL: 06-4390-4311(臨時受付: 西大橋店)

**エニタイムフィットネス大和田**

所在地: 大阪府門真市野里町9-14 大西ビル  
TEL: 072-842-2225

**エニタイムフィットネス十三**

所在地: 大阪府大阪市淀川区十三本町1-7-27  
サンポードシティ 3階  
TEL: 06-6300-7128

**エニタイムフィットネスなかもず店**

所在地:大阪府堺市北区中百舌鳥町5-6  
中百舌鳥駅前ビル 2F  
TEL:06-6311-5888(臨時受付:梅田東店)

**エニタイムフィットネス三国ヶ丘**

所在地:大阪府堺市堺区向陵中町4-5-27-1F  
中谷ビル 1F  
TEL:06-6767-7181(臨時受付:上町店)

**エニタイムフィットネス九品寺**

所在地:熊本県熊本市中央区九品寺3-16-55  
ダイレックス九品寺店隣  
TEL:096-327-9011

**三洋堂HD、フィットネス事業に参入、10店超計画、レンタル部門を衣替え**

三洋堂ホールディングス(HD)が11月からフィットネス事業に参入する。DVDなどのレンタル部門の不振が続いており、レンタルフロアを併設した全国約70店のうち、10ヶ所超でフィットネスジムの運営に乗り出す方針だ。主力の書籍販売も「本離れ」で苦戦しており、新事業に進出し、集客力の向上を目指す。

子会社の三洋堂書店がスポーツクラブを運営するアクトス(岐阜県多治見市)とフランチャイズ契約を結んだ。第1段として志段味店(名古屋市)でDVDなどのレンタルフロアを閉鎖し、11月にフィットネスジムを開設する。

(2017.9.5 日本経済)

## Issue

## 記事

**介護利用者1.4%増613万人、厚労省、昨年度**

厚生労働省が31日に発表した2016年度の介護給付費実態調査によると、介護や介護予防サービスを利用した人は前の年度と比べて1.4%増の613万8千人だった。増加は10年連続。高齢化を背景に過去最高の更新を続けている。

(2017.9.1 日本経済)

**24時間ジムと総合フィットネスクラブ、相互利用プラン導入、ティップネス、月500円追加で使い放題**

ティップネスは24時間営業のジムと総合型フィットネスクラブの相互利用ができる会員プランの提供を始めた。総合型ジムの会員は月会費に500円追加すると、24時間型のジムが使い放題になる。多様化する顧客ニーズに応える。

都心部にある総合型ジムで会社帰りに最先端のトレーニングを受け、休日や深夜には好きな時間に自宅近くの24時間型ジムで手軽に自分スタイルのトレーニングをすといった利用を想定する。

(2017.9.4 日経MJ)

**センコーグループHD、フィットネスクラブ運営のブルーアースおよび関連会社2社をグループ化**

センコーグループホールディングス株式会社は、2017年9月1日、フィットネスクラブなどを運営する株式会社ブルーアースおよび関連会社2社の全株式を取得し、グループに迎えた。

ブルーアース社は、総合フィットネスクラブの「ブルーアース」や小規模フィットネスジムの「MY-BODY」などを、山梨県内を中心に東京都や静岡県で11施設運営している。また、自治体所有のフィットネスクラブやプール3施設の運営受託も含め、施設数は計14施設で、約1万人の会員を有する山梨県では最大手の会社。さらに、有料老人ホームや接骨院の運営も行っている。

今回、ブルーアース社は、センコーグループに加わることで、今まで進出していなかった地域へ積極的に出店し、ブランド展開を広めていく。

(2017.94 日本経済)

**ボルダリング、壁低く、五輪追い風、施設続々、映像投映、ゲーム感覚、ヨガ・ピラティス併設**

ロープを使わずに壁をよじ登るボルダリングを気軽に楽しめる施設が埼玉県内で増えている。川越市には8日、映像機能を組み合わせた珍しい施設が登場。19日にはヨガスタジオを併設した複合施設がさいたま市内に開業する。2020年の東京五輪で実施競技になったのを追い風に、各施設は個性を打ち出して集客に力を入れている。

川越市で8日に開業したコナミススポーツクラブ川越は、壁面に映像を投映するプロジェクションマッピングを導入。壁面に登るルートを映し出すほか、動くコウモリのイラストを追い掛けるなどのゲームも楽しめる。こうした機能のあるボルダリング施設は全国初という。

(2017.9.9 日本経済)

**糖尿病、初の1,000万人、昨年推計、国民健康・栄養調査、高齢化が影響、重症化なら医療費膨張**

糖尿病が強く疑われる患者が2016年に推計1千万人に上ったことが21日、厚生労働省の国民健康・栄養調査でわかった。高齢化の進展などで、前回患者数を推計した12年調査から50万人増え、初めて1千万人台になった。糖尿病が悪化すると人工透析が必要になり多額の医療費がかかる。自治体などによる糖尿病の重症化予防の取り組みが急務となっている。

同調査は厚労省が健康増進法に基づいて毎年実施している。項目は身体的データや食事、飲酒、喫煙、睡眠、運動など幅広い。糖尿病の患者数の推計などは4~5年おきに調査している。

(2017.9.22 日本経済)

**ご褒美ポイント、健康増進に一役、大阪・高石市など、運動や健診で付与、たまれば商品券などと交換、医療費抑制を目指す**

健康のために歩いたり、がん検診を受けたりしてポイントをためると、景品や商品券に交換できる制度の導入が関西の自治体で相次いでいる。参加した住民には運動習慣の定着などがみられ、医療費の抑制効果も出ている。蓄積したデータを活かした施策のほか、企業を巻き込んだ新たな健康ビジネス創出への期待も大きい。

(2017.9.26 日本経済)